

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-172902

(43)Date of publication of application : 04.07.1990

(51)Int.Cl.

A61K 7/00

A61K 7/02

(21)Application number : 63-327368

(71)Applicant : TOMBOW PENCIL CO LTD

(22)Date of filing : 24.12.1988

(72)Inventor : SAKURAMACHI HIROKI

(54) COSMETIC

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a cosmetic having excellent spread, adhesivity, smoothness, air permeability and adsorptivity of sweating material, containing porous silica.

CONSTITUTION: A foundation cosmetic or make-up cosmetic in a milky lotion state, lotion state, creamy state, ointment state, stick state, powdery state, dish state, etc., containing 5-30wt.% porous silica. Porous silica has open cell foams having 10-250 μ m pore diameters and excellent absorption characteristics because the surface of the porous silica is covered with OH group having high polarity. A cosmetic containing the porous silica will not cause make-up disorder since the cosmetic absorbs sweating materials.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑤ Int. Cl.⁵A 61 K 7/00
7/02

識別記号

B
N

庁内整理番号

7306-4C
7306-4C

⑬ 公開 平成2年(1990)7月4日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 化粧料

⑮ 特 願 昭63-327368

⑯ 出 願 昭63(1988)12月24日

⑰ 発 明 者 桜 町 弘 樹 東京都北区豊島6丁目10番12号 株式会社トンボ鉛筆内
⑱ 出 願 人 株式会社トンボ鉛筆 東京都北区豊島6丁目10番12号

明 細 書

1. 発明の名称

化粧料

2. 特許請求の範囲

多孔質シリカを含有することを特徴とする基礎化粧料。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は超微粉で多孔質であるための平滑性、密着性に優れ、発汗物の吸着性に優れた基礎化粧料に関する。

(従来技術)

従来、化粧料の体質、及び顔料としては金属炭酸化合物、燃焼性物質、細孔を有しない硅酸化合物、セルロース粉末などがあり保香性、通気性が優れたものはある。一方板状の顔料としてはマイ

カが使用され、平滑性、容着性を重視して使用されている。

(発明が解決しようとする課題)

従来の基礎化粧料は単なる粉体の混合物であり通気性は優れているが発汗物を吸収してくれないのでメイクアップ化粧料がうきあがり、所謂化粧崩れし易い。

(課題を解決する為の手段)

本発明は上記化粧崩れのしない方法を鋭意研究を重ねた結果、多孔質シリカを配合した化粧料が発汗物を吸収してくれることを見出し、本発明に至った。

次に本発明の構成について述べる。

すなわち、本発明で使用する多孔質シリカとは細孔径10Å~250Åを有する連続気孔を有し、その表面は極性の強い水酸基で覆われており吸水性に富んだ性質を有する。そして、この多孔質シリカは化粧料全体量に対して5~30重量%で使

用することが好ましく、5重量%以下では表面が親水性とならず、30重量%以上ではのびが悪く好ましくない。多孔質シリカを配合する化粧料の剤型としては乳液状、ローション状クリーム状、軟膏状、スティック状、粉体状、皿状等通常化粧料として用いられる形態のものであれば、いずれも良く(頬紅、白粉、眉墨等のメイクアップ化粧料にも好適であった)

(作 用)

本発明において添加した多孔質シリカは先に述べたように10A~250Aのような微細な孔径を有する気孔が皮膚表面に分散存在するため、本発明に係る基礎化粧料で構成された塗膜は吸水性及び吸油性を示す。

(実施例)

次に本発明の実施例を挙げて更に詳細に説明する。

実施例 2

(流し込みファンデーション)

1. 酸化チタン	12.0%
2. セリサイト	14.1%
3. 多孔質シリカ (富士デヴィソン化学工業製 サイロイド#308)	18.0%
4. ベンガラ	1.1%
5. 黄酸化鉄	2.1%
6. 黒酸化鉄	0.3%
7. 流動パラフィン	30.0%
8. ワセリン	10.0%
9. シリコン油	5.0%
10. マイクロクリスタリン ワックス	7.0%
11. 防腐剤、香料	0.4%
	<hr/> 100.0%

1~6を混合粉砕均一化し、これを予め混合加熱溶解した7~11に添加して攪拌均一化した後、所定の容器に流し込む。

実施例 1

(固型ファンデーション)

1. 酸化チタン	10.0%
2. セリサイト	15.0%
3. タルク	23.3%
4. 多孔質シリカ (富士デヴィソン化学工業製 サイロイド#244)	25.0%
5. ベンガラ	1.0%
6. 黄酸化鉄	2.0%
7. 黒酸化鉄	0.3%
8. 流動パラフィン	15.0%
9. シリコン油	8.0%
10. 防腐剤、香料	0.4%
	<hr/> 100.0%

1~7の成分を混合粉砕一化し、これに8~10を添加して混合均一化する。その後これを金皿に充填し、圧縮成型機にてプレス成型する。

実施例 3

(乳化型ファンデーション)

1. 酸化チタン	1.90%
2. タルク	1.12%
3. 多孔質シリカ (富士デヴィソン化学工業製 サイロイド#810)	9.0%
4. ベンガラ	0.15%
5. 黄酸化鉄	0.27%
6. 黒酸化鉄	0.06%
7. カオリン	6.0%
8. セレシン	3.50%
9. パラフィンワックス	1.50%
10. 液状ラノリン	1.50%
11. 流動パラフィン	13.50%
12. Tween 80	1.00%
13. Span 80	1.00%
14. モノステアリン酸グリセリン	0.70%
15. 糖製水	55.20%
16. カルボキシメチルセルロース	0.40%
17. プロピサングリコール	3.0%

18. 防腐剤、香料	0.2 %
	100.0 %

1～7を混合粉碎均一化し、これを予め混合加熱した12～17に添加し、ホモミキサーで均一化する。その後、これを予め混合加熱均一化した8～11を徐々に添加し、ホモミキサーで乳化させる。その後18を添加してバルクとする。

(発明の効果)

本発明による基礎化粧品は、延び、密着性、平滑性及び通気性は従来品と何ら劣ることなく優れており、皮膚表面に分散存在している多孔質シリカの作用によって発汗物を吸収されるため、メイクアップ化粧料を所謂化粧崩れさせることなく長時間保持することに効果があった。

特 許 出 願 人
株式会社トンボ鉛筆
代表者 小川 隆司